

# 連盟あまた

■発行所 秋田県看護連盟  
 TEL 018-867-7474  
 FAX 018-867-7477

■責任者 土田 妙

## 看護界の明るい未来の為に 石田まさひろ議員へ応援を！

秋田県看護連盟 会長 土田 妙



新年おめでとうございます。

穏やかな新年を迎えたいと思いましたが、やはり豪雪被害や事件報道等が後を絶ちません。被害を受けた皆様には心からお見舞い申し上げます。そして、今年こそ明るい話題が多い年になる事を願います。

世界は今、平昌オリンピックで盛り上がっていますが、真摯に競う選手の報道よりも“ほほえみ外交”等、政治的報道が多く残念です。でも選手の皆さんは雑音に惑わされず力を出し切り、日本選手のメダルラッシュから、数えきれない感動と元気をもらいました。

昨年、当連盟では後期活動として、看護協会役員との合同会議、教育者懇談会、青年部委員主催のポリナビワークショップを実施。12月21日には、石田まさひろ参議院議員が来県し「現場の声を届ける会」を開催。各支部では、診療所や介護施設勤務職員の会員・非会員の皆様を対象に「感染対策研修会」を実施し好評を得ました。

また、今年も看護協会各地区支部集會に来賓ご招待を頂き、連盟会長としての思いをお伝えする事ができました。

さて、石田議員は、日本の人口減少に向けて、医療・看護界にも、AI（人工知能）やロボットが導入される。しかしAI・ロボットにできない事は、看護職の経験による観察・判断とケア、コミュニケーションだと話しております。そして、4人の看護職議員の協力により看護職が評価され、22年ぶりに「夜勤手当」が改定されました。

秋田県看護連盟は「現場の声」をしっかり受け止め、届け、看護協会が目指す政策実現に向けて連携を強くし、看護界の明るい未来の為に活動して参ります。

そのために「石田まさひろを応援する会」への入会と会員増へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



秋田県看護協会秋田臨海地区支部集會来賓挨拶

## 第48回衆議院総選挙

### 当選おめでとうございます



岡山3区 あべ俊子議員



京都3区 木村やよい議員

### 目次

日本看護連盟会長挨拶	2
秋田県看護協会会長挨拶	2
国会議員挨拶	2、3
「現場の声を届ける会」報告	4、5、6
研修会報告	7、8
表彰おめでとうございます・看護協会役員合同会議・教育者懇談会報告	9
県役員紹介	10
平成30年度 通常総会のお知らせ 研修計画(案)	11
入会案内、編集後記	12

「力強い看護連盟」を目指して

日本看護連盟 会長 草間 朋子



立春を迎え梅の開花の便りがきかれるようになりました。今年も、看護現場が抱える課題を看護政策として確実に実現し、会員のみなさまが「看護連盟があつてよかった」と組織の存在を実感できる組織作り、活動を、みなさまとともに目指していきたいと思ひます。

日本看護連盟は、石田まさひろ先生を次の参議院選の組織内候補予定者としてすでに決定し、清水嘉与子顧問を会長に「石田まさひろを応援する会」を立ち上げ活動を開始しております。会員のみなさまには、看護職の国会議員を選出することの大切さをしっかりご理解いただき、「ベッドサイドから政治を変える」のスローガンの下、プライドをもって明るく、元気で働き続けられる環境づくりを目指して、一步一步、確実に歩んでまいりましょう。看護政策の実現は、4人の国会議員の先生の協力を得ながら、私たち看護職の手、力で自律して行なわなければならない。看護連盟の活動の成果は、会員のみなさま一人ひとりの努力の積み重ねによって達成することができます。

看護政策実現に向けて

秋田県看護協会 会長 高島 幹子



秋田県看護連盟会員の皆様、日頃より当協会活動にご支援ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年12月21日に、看護職の国会代表である参議院議員石田昌宏さんが秋田にいらっしやいました。現場主義を掲げている石田議員は、施設訪問に力を注がれていて、秋田でも土田看護連盟会長や役員の方達と共に複数の病院・施設等を訪問し、現場で働く看護職員や看護師養成校教員からの生の声を聞かれました。私も同席させていただきましたが、日本看護協会が政策提言した内容を、実現に向けて国会の場で進展させるためには、石田議員のような熱意ある看護職の代表が必要だと痛感した次第です。

患者さんの高齢化に伴って病像は複雑になっており、加えて在宅医療への移行で、看護師には高い能力が求められています。私たちは、これらの状況を共通認識し、看護連盟と看護協会との連携を更に強化して政策実現に向けての取り組みを推進させましょう。

超高齢社会を支える看護職の大きな力が必要

自民党 副幹事長 衆議院議員 あべ 俊子



秋田県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様におかれましては、清々しく新しい年を迎えられたことと拝察申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、5期目の国政へ送り出していただくことができました。本当にありがとうございました。

また改選後は、財務金融委員会（理事）、予算委員会、地方創生に関する特別委員会の委員を拝命するとともに、自民党副幹事長としてもその任に就かせていただいております。

1月より第196回通常国会が始まっています。これからますます本格的となる超高齢社会を支えるためには、看護職の皆様のお力添えが必要です。その看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護ができるお役に立てるよう、引き続き現場の声をお聞かせいただきながら全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護職の誇りと気概を胸に果敢に挑戦を

文教科学委員会 委員長 参議院議員 たかがい 恵美子



秋田県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。さて昨秋の衆議院総選挙では、一致結束の大勝利を収め、新たな希望の広がりを共有することができました。看護職はいのちの現場の守り手として、次代に相応しい社会保障制度体系づくりを牽引する大切な存在。その一人ひとりの真心に感謝し、看護職の誇りと気概を胸に、これからも果敢に挑戦を続けたいものです。

私こと、参議院では文教科学委員長に指名され、教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査にあたることとなり、また党政務調査会においても新たに文部科学部会副会長を拝命しました。厚生労働部会についても引き続き、副会長の任にあたります。働き方改革を始め幅広い厚生労働分野の諸課題と真摯に向き合い、これからも、その解決のため堅実に職責を果たして参ります。

皆々様の温かいお支えに改めて心から感謝を申し上げ、皆様の更なる御活躍を祈念申し上げます。

47都道府県を訪問し現場の声を政策に

厚生労働委員会 筆頭理事 参議院議員 石田 まさひろ



秋田県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。

通常国会が開会しました。私は、参議院厚生労働委員会の筆頭理事を拝命し、野党の筆頭理事と委員会の持ち方を議論し、交渉や調整役を果たします。特に、今国会の厚生労働委員会では、安倍政権のメインテーマである「働き方改革」の関連法案をはじめ重要な法案審議が多く控えています。鋭意努力してまいります。

また、昨年、日本看護連盟総会で組織内候補予定者として指名して頂きました。その後、国会の合間をぬって47都道府県を訪問し、全国の皆様から「夜勤の担い手が不足している」、「看護記録が多すぎる」等の声を頻繁にうかがいました。平成30年度予算案には、22年ぶりに看護職の夜勤手当の増額が含まれ、夜勤勤務者へのインセンティブを図ります。また、報酬改定でも記録合理化に向け見直しが見込まれます。取組が少しずつ進んでいますが、第一線で活躍する皆さんが変化を実感するにはまだまだです。

「今日もいい看護ができた！」と充実感を持って頂けるよう、今年もいっそう国政の場で声を挙げて参ります。引き続きご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

誰もがより健康で活躍できる社会の実現に向けて

衆議院議員 木村 やよい



秋田県看護連盟の皆さま、こんにちは。

昨秋の衆議院議員選挙では、温かいご支援を賜り、ありがとうございました。看護連盟の皆さまのお力添えあって、再び議員バッジをお預かりさせていただくことになりました。

初当選から、医療分野をはじめ、待機児童、特別養子縁組、生活困窮者の就労支援等の政策課題に、強い思いを持って取り組んでまいりました。

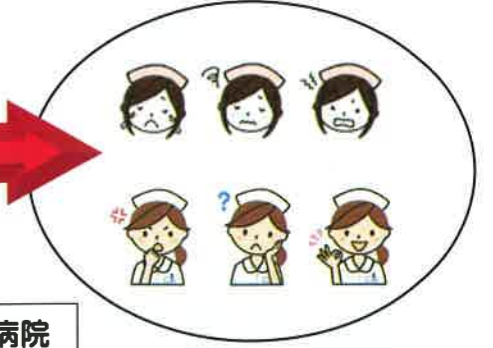
これからも「誰もがより健康で活躍できる社会」の実現に向け、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たすため、現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映してまいります。

そして、政治家として、光の当たらぬところにあたたかな光を当てていく政治を忘れずに、女性の視点、母親の視点、看護の視点を生かし、皆さまのご期待と信頼に応えてまいります。京都はもとより全国の看護職の皆さまへのご恩返しをしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 石田まさひろ議員に「現場の声を届ける会」



石田議員機内にて撮影  
鳥海山がとても綺麗!  
ここまでは順調なflight

平成29年12月21日(木)、秋田市内は曇り空ながら時々晴れ間の覗く上天気で、「私は晴れ女だから」と土田会長。高島秋田県看護協会長、連盟役員の総勢5名で秋田空港にお迎え。雄和に近づくにつれガスが濃くなり、一抹の不安が…。石田議員を乗せたJAL161便は、朝8時20分ほぼ定刻に秋田空港上空に。ところが着陸を試みることに5回、断念し羽田に引き返すことに。



秋田空港上空  
滑走路が全く見えない!!  
Oh! My God!!

石田まさひろ参議院議員は、H29年度の日本看護連盟通常総会において、第25回参議院議員選挙候補予定者に決定後から、1年間で47都道府県を訪問し、「現場の声を届ける会」を開催するために精力的に巡回しておりました。

秋田県訪問は中々日程調整がつかず、ようやく12月21日に決定し、今回は由利・本荘地域を主に訪問させて頂く予定で、行程を計画し訪問先の看護管理者様から、快い歓迎のお返事を頂いた所でしたが、当日、秋田空港8時20分着予定が霧のために羽田空港に戻り、2便の12時05分着となってしまいました。そのため、予定していた9施設の内「秋田県立リハビリテーション・精神医療センター」「医療法人青嵐会 本庄第一病院」「医療法人荘和会 菅原病院」には訪問できませんでした。ご準備下さいました管理者様には大変申し訳なく、また残念でなりません。お詫び申し上げますと共に、他施設訪問で得られた「現場の声」をしっかりと石田まさひろ議員に受け止めて頂き、課題解決に尽力して貰うよう秋田県看護連盟も活動強化に努めてまいります。(会長 土田 妙)



12:05 秋田空港 13:00 由利組合総合病院



師長会を中心に23名参加下さいました。新妻美貴子看護部長より、『現場の声』を聞かせていただきました。(抜粋)

- ・人員配置に苦勞している ⇒ 夜勤を敬遠、またはできない職員が増加している。
  - ・交替制勤務の企業が多い地域、夫も夜勤があるケースが多い事も一因。核家族・共働きで急に休むことも多く、50歳代の職員にしわ寄せがきている。
  - ・教育が時間内にできない ⇒ 研修会・会議はほとんどが時間外。
  - ・記録が多い ⇒ 医療安全の面からも必要な部分は分かるが、多すぎるし、増えている。
  - ・記録が時間外に繋がっている。
  - ・看護必要度は必要か ⇒ 現場の忙しさが反映されていない。
- 最後に訪問看護のスタッフから現場の声用紙が直接石田議員に手渡されました。

13:45 由利組合総合病院 14:10 由利本荘医師会病院



由利本荘医師会病院

由利本荘医師会病院の連盟会員は1名ですが、職員の皆さんのほか、隣接の医師会立看護学校の佐々木澄子副学校長も参加して下さいました。「有給休暇が取れない」「県内でスキルアップするための教育機関がない」など。ただ皆さんの勤務体制や職場環境の満足度は高く、働きやすい良い病院だとおっしゃっていました。

看護学校では、教員確保が困難で、大学と専門学校の教員資格取得に差があることの不合理的、学生の定員枠の縛りについて訴えられました。

14:45 由利本荘医師会病院 15:45 秋田市にぎわい交流館AU

にぎわい交流館では、秋田・臨海支部の30施設に開催案内したところ、秋田大学医学部附属病院2名・市立秋田総合病院3名・秋田厚生医療センター4名・男鹿みなと市民病院1名・秋田・臨海第5支部長が参加してくれました。残念ながら欠席の外旭川病院の看護部長から「現場の声」が文書で送られ、石田議員に届けられました。



15:00から開催予定が、45分の遅れとなったが、その間の参加者の意見交換が、有意義な時間となりました。石田議員との話し合いでは、時間外労働がサービス残業になっている。看護必要度、加算を取るための記録が時間外になっている。看護必要度は必要か?看護の対象が複雑になっており、乖離している。管理職は時間外手当がでない。持参薬管理が看護師の仕事?。夜勤のできる看護師が不足しており、中高年者への負担が大きい。療養型病床が少なく、急性期からの退院先がなかなか決まらない。施設よりも病院の方が患者負担が少ない。老老介護で在宅療養が困難。…など多くの意見交換ができました。



16:30 秋田市にぎわい交流館AU 17:00 秋田県立医療療育センター

医療療育センターでは、坂本仁センター長はじめ、リハビリスタッフ、保育士さんなど他職種の方々も集まって下さいました。

センターには年間700人の新患が受診しており、心身障害、発達障害を合併している患児が増えている。乳幼児期から成人期までのライフステージに応じた多様な継続支援が求められており、対応が複雑化している。「親亡き後の障がい児」「医療と福祉の狭間にいる患者」「市町村による助成金の違い」など、沢山の課題があることが分かりました。

県レベル・市町村レベルの行政対応が必要で、県出身の国会議員、県会議員の先生方にこの現場の声を届けるために、是非施設訪問の機会を設定しようと思いました。



秋田県立医療療育センター

17:30 秋田県立医療療育センター 17:45 遊学舎

遊学舎には秋田赤十字病院から看護部長（秋田・臨海第3支部長）ほか15名の師長さんが、拍手とウェルカムポスターでお迎えくださいました。

朝からのアクシデント、夕方まで走り続けていささか疲れ気味の石田議員でしたが、熱い歓迎にパワーが充電されたようでした。



秋田赤十字病院の皆さん

急性期病棟で、育児時短者5人、新人看護師3人で、3交代勤務をまわす困難さ、夜勤手当を上げてモチベーションをアップさせたい。学校教育は看護過程に縛られ、本来のベッドサイドでの看護が不足しているカリキュラムになっていることなどの声が寄せられました。



石田議員からの情報 ～働き方改革、平成30年度診療報酬改定の概要など～

- ① 働き方改革について⇒私たちにとって何が大切かを真剣に考え働かないといけない。減らない時間外勤務；「いかに仕事を減らすか」にしないと廻らない。職場ごとに考える必要がある。「何を残すか」・・・教育とベットのサイド以外はスリムにすべき。仕事の仕方そのものを考える機会にしないといけない。
- 夜勤者不足；交代勤務在りきではなく「夜勤専従」や「日勤専従」等も取り入れた勤務体系にしないと成り立たなくなるのかも。例：今月は夜勤専従・来月は日勤専従。都会では夜勤専従者が増加し日勤者が不足する事態が現れた。夜勤専従のメリット多い（委員会無し・患者家族と関わりなし・Drとの関わり少ない・検査無し・記録少ない・夜勤手当で給料アップ・日中時間多い等）
- 休暇が取れない；残業が多い事業所や有休5日以上取得できない事業所は罰則適用される事になる。
- ② 今後「看護必要度」に代わる新たな指標作りが必要になると思う。今の「看護必要度」は無くなる＝捨てるチャンス！
- ③ 他職種との役割分担をすすめることが課題。（リハビリ・薬剤師・給食・検査・事務部門）
- ④ 22年ぶりに国家公務員の夜間看護手当が上がることになった。（国家公務員給与から民間にも波及するだろう）夜勤手当（22時から5時まで）500円アップ。自民党だから出来た事。
- ⑤ 人員不足に関しては県立病院で看護師を「プール」し、不足している県内の病院へ回す仕組みを作るべき。
- ⑥ 診療報酬の変化⇒薬価引き下げ・7:1減らし・外来強化病院に点数。人員基準をとるために看護師〇人必要は、なくなる・・・配置の発想転換。
- ⑦ 在宅は限界がある⇒施設を自由な環境・寮的な集団で住む環境の場を増やす。施設の発想を変える。（訪問看護も介入する）自宅っぽい施設にし、転倒などもあくまで自己責任となるが。
- ⑧ 外来支援強化⇒入院調整と退院調整に加算される。入院前にオリエンテーション・入院計画・退院計画などすべて終了してから入院。外来でオリエンテーション施行者が病棟で入院待ちする形に。入退院センターが有る事が評価される。入院・外来を一緒に配置する方向になる。
- ⑨ 障害児の施設では個別ケアが進んでいる⇒高齢者にもモデルにしてほしい。
- ⑩ 徐々に入院病棟の看護師が増えなくなる⇒病棟の看護師を訪問看護に出向かせて在宅ケアの推進を。
- ⑪ 記録が多く時間外になっている現場が多い⇒記録は減らす方向で石田も努力している。無駄を省き必要な情報を分かりやすく記載する能力は必要。
- ⑫ 新人は慢性期病棟で「看護の喜び」を学んでから急性期病棟へ行った方がいい。看護職を目指して大学に入学する子供たちの学力レベルは低下しており、今後離職する若い看護職も多くなる可能性がある。看護師増加ばかり望むことなく現場の仕事内容はスリム化しないとダメ。「医療費が伸びれば看護師の需要が上がる」については今後も期待できない。

平成29年度 第2回秋田県看護連盟会員研修会及び 支部長・施設幹事・リーダーセミナー

開催日時；平成29年11月12日（日）10時00分～15時00分  
 会場；秋田ビューホテル 4階 飛翔  
 午前；講演「現代メディア事情と選挙 ～草の根からの政治参加促進のために～」  
 午後；講演「草の根からの政治参加と政策実現に向けて必要なこと」  
 グループワーク「投票行動につながる名ゼリフを考えよう！」  
 ～あなたはスタッフにどのように伝えますか～  
 講師；東北大学全学教育、富士大学経済学部 非常勤講師 伊藤 裕顕 氏  
 （元岩手放送記者）  
 参加者数；AM：146名（会員113名、非会員10名、連盟役員23名）  
 PM：111名（支部長12名、施設幹事7名、リーダー45名、県役員10名、その他 37名）



「報告」 ‘期日前投票は増加しているが、投票率は低下傾向’の背景には、情報の入手元であるメディアの媒体が多様化し、テレビ、新聞、インターネットなどと選択可能な反面、利用に必要なコスト負担、経済格差に伴う情報の入手元限定が意思決定を妨げている要因とも考えられている。候補者から有権者へ一方的に政見を述べ、有権者はそれを聞くだけにとどまっている。本来は候補者と有権者の双方向コミュニケーションが大切で、直接会える場面があれば握手だけで終わるのではなく、率直な疑問や価値観の確認など、是非積極的に対話すべきとの事であった。

政治参加に消極的な有権者に対して必要な活動は、ひとりひとりの有権者へ、政治参加により未来に向けた説得力のあるストーリーを描き、説明していくことであり、このような草の根運動が選挙に勝つための支持層の地固めに必要なことであると学んだ。

午後のグループワークでは、政治活動への参加や投票行動を促進していく為にリーダーとしてどのような働きかけをしていくべきか意見交換し、働きかけに必要な「名ゼリフ」及び「選挙行動につながる仕掛け」について情報共有できた。



次々と名ゼリフ

和気藹々のグループワーク

名ゼリフ集はH30年度総会要綱をお楽しみに!!

# 第11回ポリナビワークショップ in AKITA



開催日時：平成29年12月10日(日) 13時00分～16時00分

会場：秋田キャッスルホテル 4階 放光の間

講演：テーマ 『若者×地域のワクワクの作り方』

講師 男鹿市地域おこし協力隊 伊藤 晴樹 氏

グループワーク：『看護と地域の繋がり ～若者が考える地域貢献～』

参加者数：136名(会員86名、非会員15名、青年部委員12名、連盟役員〈青年部委員長含む〉23名)



「自分の好きなことを好きと言える秋田」  
「人間は自分の人生を描く画家である」



「報告」 講師の伊藤さんは山本郡二ツ井町生まれの26歳。秋田大在学中、地域活性化をサポートする学生団体「ARCグループ」を設立、2015年「若者団体AKITA未来創生塾」を設立した。藤里町・能代市檜山の自治会と連携し、田んぼアートに挑戦、地域の“足跡”を記録する活動、郷土芸能・祭りへの参加、県議を招いたシンポジウムの実施、選挙権年齢引き下げに伴うワークショップの実施等、『人と地域を繋ぐ』『学生と社会を繋ぐ』架け橋となる活動の実績により、2016.12未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー内閣総理大臣賞を受賞している。現在は男鹿市地域おこし協力隊として、様々な体験型学習を企画し、秋田の地域課題の解決法を自らの手で作り出す人材を育てる教育事業に取り組んでいる。

自分史を振り返り、カラーセラピーなどの理論を交えながらの講演は、非常に興味深く楽しいものであった。

後半のグループワーク；地域が抱える課題から看護師として出来る地域貢献について考える上で、大いに参考となった。

## 「グループワーク発表

～自分たちができる地域貢献とは～より」

- 退院支援・訪問看護の充実、病院祭やイベント時に地域の人々、患者家族も含めた健康相談の実施
- 一人暮らしの人などに積極的に関わり、病院が地域の方々が気軽に足を運べる窓口・交流の場になれば良い。
- 私たちが今、働いていること、一生懸命良い看護を提供していることこそが一番の地域貢献。

## 「感想；アンケートより」

- ・医療職以外の方の講演があまりないので、新鮮であった。
- ・地域のために頑張っている様々な活動について知れてよかった。
- ・地域おこしのイベントにもっと参加したくなった。
- ・地域の活性化についてどのようにしたら良いか学ぶことができた。
- ・他の人の意見を聞くことでモチベーションが上がった。
- ・久しぶりの友人に会うこともでき、他病院の方々の意見や活動を知ることができた。

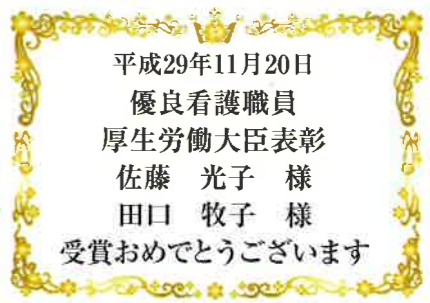
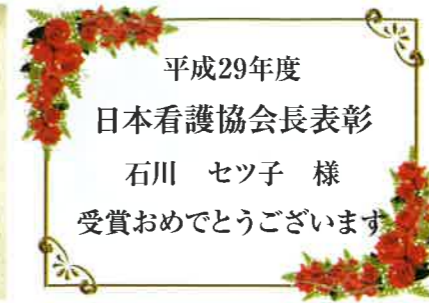
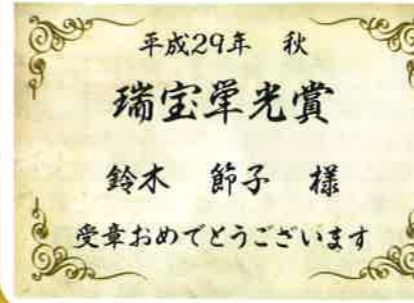


「地域を守るのはオレたち看護職の若者だ!!」



講師と会長、青年部委員全員集合

# 祝 表彰おめでとうございます



## 秋田県看護協会・看護連盟合同役員会議

開催日：平成29年11月15日(水)  
 時間：10時00分～12時00分  
 会場：秋田県看護センター 会議室  
 参加者：秋田県看護協会 会長 高島 幹子氏  
 副会長 菅原トシエ氏  
 常務 福田 幸子氏  
 秋田県看護連盟 会長 土田 妙  
 副会長 草薨 真子  
 副会長 齋藤 京子  
 幹事長 松村 良子  
 顧問 菅 レイ子  
 事務局 鎌田 さち子



協会役員との合同会議は昨年に続き、2回目の開催である。土田会長より看護政策実現に向けた看護職議員の取り組み(石田議員は給与体系、高階議員はエンパワメント、阿部議員は夜勤体制)について紹介し、高島協会長は協会と連盟の連携は重要で、政策実現のために、両者が同じ方向を向いていくことが大事と話された。

自民党政調会長への要望書、秋田県医療関係連合会として四師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護連盟)が政策協定を締結したこと、看護教育制度、看護職の賃金に関する課題、会員数について意見交換を行った。

連盟からは協会との合同研修会、看護関連予算等要望書提出段階での情報共有について希望を伝えた。

## 看護教育に関する懇談会

開催日：平成29年11月15日(水) 13時30分～15時30分  
 会場：秋田県看護センター 会議室  
 参加者：秋田県看護協会役員3名、連盟役員5名、事務局看護教育者5名(県医務薬事課高橋看護教育担当、秋田看護福祉大学水木教授、しらかみ看護学院田口学院長、由利本荘医師会立看護学校佐々木副学校長、秋田県立衛看小林教員)



看護教育の課題を共有し、問題解決に向けて政策提言へと導きたいという趣旨で、今回3回目の開催。カリキュラムが増え、学生も教員も慌しく、振り返り考える余裕もない状況にあり、看護基礎教育時間の延長は不可欠になっている。4年制移行に伴う教員不足、実習受入れ体制(時間・看護職の「魅力」が学生に伝わる関わり)、また、学生の経済的負担等の問題について意見交換した。

### 県役員紹介



顧問 菅 レイ子

看護の社会的評価が低く、働く環境や処遇に恵まれていない頃、偉大な諸先輩や看護職員の方、改革に向けて奮闘する様を目の当たりにし、私達の望む看護界を作るには政治参画が必要と考え、今も連盟に関わっています。当時の願いは、政治力により看護界の発展に繋がります。今も引き継がれています。

今後社会情勢の変容により、法令や政策は看護の現場に多大な影響を及ぼします。看護連盟の組織力が必要です。未来志向を持って共に行動しましょう。



幹事 宇佐美正子

私は在宅のまま幹事を拝命して3年目になります。日本生命の調査で、女の子が大人になってなりたい職業の2位が看護師でした。夢が現実に至った時、選んで良かったと言えるような体制作りが重要と考えます。看護連盟は看護の未来を見据えて活動しており、一層の団結が求められます。医療現場の問題や課題からは遠のいていますが、皆様のご協力を頂きながら役員の任務を果たしてまいります。



幹事 鎌田 玲子

支部長より県役員となり7年となります。広報を担当させていただき、年2回の「連盟あきた」発行により、秋田県看護連盟が主催する総会、研修会等の活動結果や参加された会員の思いや感想など分かりやすく会員の皆さまにお伝えし、看護職にも選挙がなぜ重要なのかを少しでも興味を持っていただけるよう頑張っていきたいと思っております。



幹事 藤原 祥隆

会員の皆さん、こんにちは。昨年は、新生青年部による第11回「リハビリワークショップ」が開催され、県内の若手看護師に多数参加頂きました。つながりを大切に、連盟とはなにか、今後何をこなして行けたらよいかを共に考えて、より良い看護の未来を創って行けたらと思います。そのためにも、現在活躍している看護師の国会議員の方々を知り、広めて行く事が何よりも大切です。一人でも多くの方に連盟活動を知って頂けるよう、今年も頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。



監事 田村 良子

平成26年度から監事として連盟活動に参加しています。看護職がチーム医療のキーパーソンとしての役割を担い働き続けられるよう、支部研修会・中央での研修会等開催し、地域・施設の看護職から「現場の声」を聞き、看護職員に届けております。「ベッドサイドから政治を変える!」のスローガンの基に看護職の代表を国政に送り続けることを目標に役員一同地道に頑張っています。今後も皆様のご支援、ご協力宜しくお願いします。



監事 小川 米子

秋田県看護連盟の監事の命を受け5年になります。(´▽`) 監事は会務の執行状況と皆さんからお預かりした会費を県や支部が目的に沿って会費を適切に運用しているかをチェックする仕事です。年2回、各支部長が提出した書類を見ている。そのため、目つきが悪くなることになったら、監査のためとってください。最後の1年、更に目つきを悪くしながら頑張りたいと思っております。



第1副会長 草薙 真子

平成30年という新しい年を迎え、私自身にとっても現職を終える節目の年です。常に「笑顔で生き生きと働き、いい看護を提供したい」と働き続けてまいりました。そのためには「自分達がいそいそと働ける環境」がなにより大切だと思います。しかし、まだまだ私達の現場は、労働環境・低賃金等と問題が山積みです。この「現場の声」を国政に届け、政治力で一つ一つ改善していきましょう。今後も役員として新たな思いで頑張っていきたいと思っております。



第2副会長 齋藤 京子

“ベッドサイドから政治を変える”のスローガンの下、今年度の事業も順調に進めることができ感謝申し上げます。昨年はたかがい恵美子・石田まさひろ参議院議員が2回ずつ来秋され、看護を取り巻く課題や国民の安全確保の為に積極的に取り組み成果を出している様子を再確認できました。今後も看護の代表として取り組んでいただくには応援者の存在が不可欠です。代表議員の知名度アップのため成果の出る年になることを信じて共に頑張ります!



幹事長 松村 良子

幹事長4年目になりました。H27年の参議院選挙では、会員の皆様のお力で高階議員を再度国会へ送ることが出来ました。私達の職場環境を改善する為に、看護職員は活動しております。今回22年ぶりに夜勤手当が上がります。民間の給与表へ波及するまでは時間が掛かりますが、これも看護職員が4名いたから出来た事です。H31年の選挙に向けた活動は既に始まりました。今後も会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。



財政幹事 谷村さゆ子

振り返りますと監事を経て、早7年の時を経てに驚きです。連盟活動を通じて思うことは、やはり、選挙戦です。連盟に関わることがなかったらこれ程までに、一票の重みを痛感することはなかったと思います。貴重な体験に感謝です。又、石田まさひろ先生の2期目の選挙戦も控えております。トップ当選目指し、皆さんと共に頑張ります。

## 平成30年度秋田県看護連盟 通常総会 石田まさひろ決起集会のお知らせ

日時；平成30年6月2日(土) 10時00分～15時00分

会場；秋田キャッスルホテル

10:00～12:00 石田まさひろ決起集会

13:00～15:00 秋田県看護連盟通常総会

審議事項 第1号議案 平成30年度秋田県看護連盟 スローガン(案)

第2号議案 平成30年度秋田県看護連盟 活動計画(案)

第3号議案 平成30年度秋田県看護連盟 予算(案)

第4号議案 第25回参議院選挙対策(案)

第5号議案 秋田県看護連盟規約並びに細則改正(案)

第6号議案 平成30年度秋田県看護連盟 役員改正(案)

## 平成30年度 秋田県看護連盟 研修計画(案)



研修名	日時	ねらい	講師	会場
第1回会員研修	7月29日(日) 10:00～12:00	看護連盟の役割を正しく理解し、活動できる	参議院議員 石田まさひろ氏	秋田キャッスルホテル
第1回リダーセミナー	7月29日(日) 10:00～15:00	『現場の声をどう制度・政策につなげるか』	参議院議員 石田まさひろ氏	秋田キャッスルホテル
看護管理者研修	9月1日(土) 13:00～15:00	看護政策の実現に向けて～看護問題解決のための管理者・教育者の役割～を学ぶ	リージアーズの会 大島 敏子 先生	秋田キャッスルホテル
第2回会員研修	10月14日(日) 10:00～12:00	看護政策と政治活動を理解し、会員として活動できる	参議院議員 石田まさひろ氏	秋田キャッスルホテル
第12回「リハビリワークショップ」	10月14日(日) 10:00～15:00	若者を中心とした看護職が、明るい看護の未来のために自分たちができることを模索する	参議院議員 石田まさひろ氏	秋田キャッスルホテル
第2回リダーセミナー	12月2日(日) 10:00～15:00	医療現場と政治・政策の関わりを学び、看護職組織のリーダーとして行動できる	東北大学政治学 准教授 河村和徳氏	秋田ビューホテル
支部主催研修		各支部所管内の病院・クリニック・介護福祉施設等の医療者を対象に、ニーズに応じたテーマでの研修を企画・開催いたします。支部または連盟事務局にご要望をお寄せください。開催案内は、各施設にご連絡いたします。また、秋田県看護連盟ホームページにも掲載いたしますのでご参照ください。		

# あなたの入会が活動を支えます



“現場の声を国政に届けましょう”  
“仲間の輪を広げましょう”

来年度目標会員数は  
正・特別会員2,800名、  
賛助会員100名です。  
宜しくお願いします。

平成29年度会員数 (平成29年12月現在)

正 会 員	: 2,788名
(うち 名誉会員2名、特別会員11名)	
賛 助 会 員	: 93名
学 生 会 員	: 0名
看護協会会員	: 6,949名
加 入 率	: 40.1%

正 会 員	公益社団法人日本看護協会会員である方 “現場の声を聞かせてください” 年会費 <b>8,000円</b> (本部会費5,000円・県会費3,000円)
特別会員	正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会会員でない方 “後輩たちが働きやすい職場環境・処遇改善のための制度づくりを応援してください” 年会費 <b>8,000円</b> (本部会費5,000円・県会費3,000円)
賛助会員	当連盟の主旨に賛同していただける方であれば、一般市民・介護職の方などなたでも入会できます。 “ひとの命を守る看護師を応援してください” 年会費 <b>1,000円</b>
学生会員	看護師または准看護師の資格を得るために就学している看護学生の方 “誇りを持って堂々と働く専門職となるために若い力を” 年会費 <b>無料</b>

平成30年度新規・継続入会受付中です。入会申込は各支部または秋田県看護連盟事務局 TEL 018-867-7474 までお願いします。

この心地良さ、誰にも譲れない

エーデル  
**EDEL**  
2017 collection





020-171218-1



**東洋羽毛北部販売(株) 秋田営業所**  
〒010-0951 秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

お気軽にお問い合わせください...



**0120-639601**



**GOOD DESIGN**  
エーデルマウンテンキルト掛けふとんは  
2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

**編集後記** 2018年を迎え、それぞれに新たな夢や目標を胸に頑張っていっしょな気持ちで迎えます。今年には診療報酬・介護報酬の同時改定の年でもあり、進む医療と福祉の一体化、柱は、地域包括ケアシステム・病院機能再編・地域医療構想に向け進んでいます。こうした改定により看護職の現場も時代と共に変化してきました。看護職の現場の声を国会という場に持ち帰り、制度としての議論や検討を行なって頂く看護職の議員さんの力がとても大きいと感じます。私たちの1票で将来の看護現場を豊かにすべく、看護連盟を今年もよろしくお願いいたします。(記：鎌田玲子)